

広告

企画・制作 / (株) 宣通
TEL. (052) 979-1602

健康講座 ドクター

Q&A

Q 過活動膀胱について教えてください。

A 過活動膀胱とは、膀胱の筋肉が過剰に収縮し、急に起こる、我慢できないような強い尿意(尿意切迫感)があり、夜間に1回以上起きて排尿する(夜間頻尿)、昼間の排尿回数が多い(頻尿)、尿意を感じた時に漏れてしまう(切迫性尿失禁)などの症状が現れる状態です。高齢者に多いですが、若い人にも見られます。頻繁にトイレに行くことで外出が億劫になったり、睡眠不足で疲れやすくなります。尿漏れが心配でストレスや自信の低下にもつながります。原因として、加齢やホルモンの変化、神経の異常、感染、炎

症、肥満、男性では前立腺肥大、女性では骨盤底の筋力低下、カフェインやアルコール摂取、ストレスや生活習慣の乱れなどがあります。水分摂取の調節、適度な運動、骨盤底筋体操、便秘対策、ストレス管理などで症状を軽減できます。改善しない場合、膀胱の収縮を抑制する薬の内服治療を行います。効果が見られない場合は、膀胱に直接注射するボツリヌス毒素治療という新しい治療もあります。過活動膀胱は放置すると生活の質が大きく低下しますが、適切な治療と対策で改善が可能です。気になる症状がある場合は、泌尿器科を受診して下さい。

1994年福島県立医科大学卒業。
1998年東北大学大学院泌尿器科学専攻卒業。
八戸市立市民病院、東北労災病院、白河厚生総合病院、東北大学病院、気仙沼市立病院勤務。
2022年4月より仙台腎泌尿器科。



院長 折笠 一彦
(仙台腎泌尿器科)